



広島弁護士会

憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム

核なき世界と



ヒロシマの役割

2025年10月25日(土)

午後2時～午後5時

広島弁護士会館3階ホール

◎広島大学平和センター

川野徳幸教授による講演

◎高校生平和大使の活動報告

核なき世界と ヒロシマの役割

戦後80年という区切り

戦後80年という区切りを迎え、現在の日本社会と世界情勢を踏まえ、世界最初の戦争被爆地であるヒロシマが、核廃絶と世界の平和のためにどのような役割が果たせるのか、また果たしていくべきか、を広く市民と考える機会を持つことにしました。

そこでは、広島と長崎の被爆と世界の各被害の実相、広島で生活する人々、被爆者や若者の平和観などを踏まえながら、日本国憲法9条や核兵器禁止条約が果たす役割を考えるとともに、私たちヒロシマに生きる市民に何ができるかを学びたいと思います。

プログラム

①講演：「核なき世界とヒロシマの役割」

講師：広島大学平和センター教授 川野徳幸氏

1966年生まれ。広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了 博士(医学)。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から広島大学平和科学研究センター(現平和センター)教授。2017年4月から2025年3月まで同センター長併任。2025年4月から本学理事補佐(平和担当)。専門は原爆・被ばく研究、平和学。広島・長崎原爆被害、セミパラチンスク・チヨルノーピリの核被害について社会医学的視点から調査研究を行っている

②質疑応答

③高校生平和大使の活動報告

入場無料、事前申込不要

日時：2025年10月25日(土)

午後2時～午後5時

場所：広島弁護士会館3階ホール

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



Google Map



主催：広島弁護士会 / 共催：日本弁護士連合会、中国地方弁護士会連合会